

機器を使った「支援技術」

プレゼンテーション資料



研修③支援の活用を学ぶ 「支援技術」



支援技術と「モバイル型遠隔情報保障システム」の体験

1



研修の流れ

- ①授業サポートの必要性
- ②連係入力体験
パソコンノートテイクの仕組みを知り
実際に連係入力をしてみよう！
- ③「モバイル型遠隔情報保障システム」体験
先端技術を使った情報保障を体験しよう！

2



授業サポートの必要性



3



授業サポートの必要性



文字による通訳（手話による通訳も含めて）... 「情報保障」



情報保障がある授業の例—ノートテイク



※ 音声を聞き取りづらく作り変えています

5



情報保障がある授業の例 —パソコンノートテイク



※ 音声を聞き取りづらく作り変えています

6

関係入力体験



7

関係入力例

原文:今日は、この新聞記事を見ながら話しますが、実はこの新聞記事は2008年の7月ですから、ちょうど3年前の今頃の…。

2人で協力して1つの文を作成します!
(交代に入力するものではありません)



関係入力体験

プロジェクトに順番に表示される文章を読み取り、IPTalkを使って関係入力をしてみましょう!



今日は、この 見ながら



3分間×3交代
(準備各2分)

IPTalkの準備を!

「モバイル型遠隔情報保障システム」体験



10

「モバイル型遠隔情報保障システム」体験



携帯端末に文字が流れる様子を体験してみよう!

<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/ce/mobile1/index.html>

11

- 本スライドは、以下の研修会のために講師が作成した教材を元に、一部修正の上使用したものです。
- 本教材の著作権はPEPNet-Japanに帰属しています。

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)
「平成23年度 聴覚障害学生エンパワメント研修会」

支援の活用を学ぶ「支援技術」
講師:三好茂樹氏(筑波技術大学)

12